

2014 年度 第 3 回 理事会報告

開催日時：2014 年 7 月 20 日（日） 13：30 ～ 17：00

開催場所：株式会社国際文献社 高田馬場会議室（東京都新宿区高田馬場 4-4-19）

I. 会長挨拶

岩田正美会長より、理事会開催にあたり挨拶があった。

II. 理事会開会宣言（欠席理事の確認）

岩田正美会長が議長となり、出席理事を確認し、「定款第 43 条」に規定されている要件を充足したので「2014 年度第 3 回理事会」を開催するとの宣言があった。

欠席理事：黒木保博、山縣文治、鬼崎信好、原田正樹、松端克文、横山正博、松本伊智朗（計 7 名）

議事録署名人：定款第 47 条に則り、岩田正美会長と小林良二監事、市川一宏監事を議事録署名人として選出した。

III. 協議事項

第 1 号議案 各種規定・内規の改廃

総務担当岩崎理事より配布資料に基づいて各種規定・内規の改廃についてのこれまでの経緯の説明と提案があった。審議の結果、提案の各種規定・内規の改廃をすることを満場一致で承認した。

第 2 号議案 委員会の委員の選出と委嘱

総務担当岩崎理事より配布資料に基づいて経過報告と提案があった。審議の結果、すべての委員の就任を満場一致で承認した。

第 3 号議案 渉外関係の委員選出

総務担当岩崎理事より配布資料に基づいて経過報告と提案があった。社会政策系学会協議会、ソーシャルケアサービス従事者研究協議会の担当者はそれぞれ総務担当岩崎理事の就任が提案された。

審議の結果、すべての委員の就任を満場一致で承認した。

第 4 号議案 入会審査について

総務担当岩崎理事より説明があった。

審議の結果、今回申込者 55 名の入会を満場一致で承認した。

第 5 号議案 第 64 回秋季大会開催予定校について

会長より 7 月 13 日開催運営委員会にて関西地域での開催が提案された。その結果、関西地域での大学と交渉することで合意した。

第 6 号議案 国際交流委員会からの審議依頼

国際学術交流促進委員長黒木理事が欠席のため、代理にて総務担当岩崎理事より、下記の点について

提案された。

- 1) 第 62 回秋季大会で中国 사회복지 専門委員会より 1 名を招聘する
- 2) 韓国 사회복지 学会との学術交流覚書更新の件

審議の結果、1) については満場一致で承認され、2) については引き続き協議を行うことを確認した。

第 7 号議案 後援依頼の手続きについて

総務担当岩崎理事より概要説明があった。従来、後援を行ってきた案件については事務局長決済にて承諾を回答し、新規の案件についてのみ運営委員会にて審議し、理事会にて報告することとするとの提案があった。

審議の結果、後援依頼手続きについては満場一致で承認されたが、本件について内規を策定し、次回理事会にて審議されることとなった。

第 8 号議案 その他

- 1) 査読委員の選出について

編集委員長柴田理事より、別紙の通り提案があった。

審議の結果、すべての委員の就任を満場一致で承認した。

IV. 報告事項

1. 経理不正問題の経過報告

(株) 国際文献社・古川より、現状報告があった。現在第三者機関による業務改善のプロジェクトが進んでおり、今後の実施策等の説明を 12 月頃行う予定との報告があった。

2. 5 月末期中監査報告

市川監事より 6 月 30 日に 5 月末期中監査が行われたことの趣旨も含め、報告があった。会員に対して経理不正問題の報告を行うことについて様々な意見が出たが、9 月発行予定の学会ニュースにて現在の状況等について報告することが確認された。

3. 第 59 回秋季大会要旨集データの件および今後のデータ保存について

岩崎総務担当理事より第 59 回秋季大会要旨集データの紛失とその復旧について報告があった。会員に対して「移行期に一旦第 59 回秋季大会要旨集データが紛失したが、その後復元したこと、その確認をお願いしたい」という趣旨をメール配信で伝えることで合意した。

4. 研究倫理委員会による予備調査の結果報告

小澤研究倫理担当理事より、匿名の研究倫理に関する申し出について会長からの予備調査依頼を受け、研究倫理委員会にて審議された内容について報告があった。本案件は、予備調査の結果を踏まえ、不受理とすることが会長より報告された。

5. 第 62 回大会関係報告

- 1) 秋季大会について

全国大会運営委員長山縣理事の代理として、田中秋季大会大会長より報告があった。

①秋季大会参加申し込み状況として発表申し込み状況詳細および参加申し込み状況詳細

②受付期間の延長及びその対応

2) 春季大会について

全国大会運営委員長山縣理事の代理にて総務担当岩崎理事から参加人数、当日の様子など報告があった。

3) 2015 年度秋季大会（久留米大学）を 9 月 19 日～20 日に開催することの報告があった。

6. 社会福祉学フォーラムの開催について

中部ブロック担当柴田理事より進捗についての報告があった。

7. 編集委員会規定の内容確認および機関誌発行について

編集担当柴田理事より拡大委員会開催、55 巻 2 号の進捗状況について報告があった。

8. 広報委員会より学会ニュース 66 号および広報委員会だより 20 号発行について

広報担当湯澤理事より 6 月 20 日に学会ニュース 66 号、26 日に広報委員会だより 20 号を発行したことの報告があった。

ホームページリニューアルについては、テストサンプルページを提示され、現在確認中であり、予定通り、8 月上旬に公開予定であることも報告された。

9. 法人税の還付請求について

財務担当秋元理事より報告があった。国際文献社に委託し、精査したところ本来課税対象でないものまで課税対象として納税していたため、還付請求できるとのことが判明した。運営委員会では還付請求することにしたとの報告があり、理事会でも確認した。

10. 入退会届の一部書式変更およびオンライン化の検討

総務担当岩崎理事より報告があった。

11. 第 6 回中国社会福祉研究専門委員会年次大会参加報告

副会長副田理事より口頭にて報告があった。

12. メール不達会員に対する対応について

総務担当岩崎理事より広報委員会だより 20 号の配信レポートを基に報告があった。メーリングリスト用のメールアドレス登録数が全会員数の 80%程度であり、登録数の増加対策として、学会誌送付時にタックシールにメールの登録状況を記し、注意喚起文書を同封することとした。

13. その他

1) ソーシャルケアサービス協議会全体会議

2) 社会政策系学会協議会

3) 社会福祉系学会連合

4) 退会者について

即時退会申出者が 5 名いたことが報告された。

議長は、議事終了を告げ、17 時 00 分 理事会を解散した。

以上